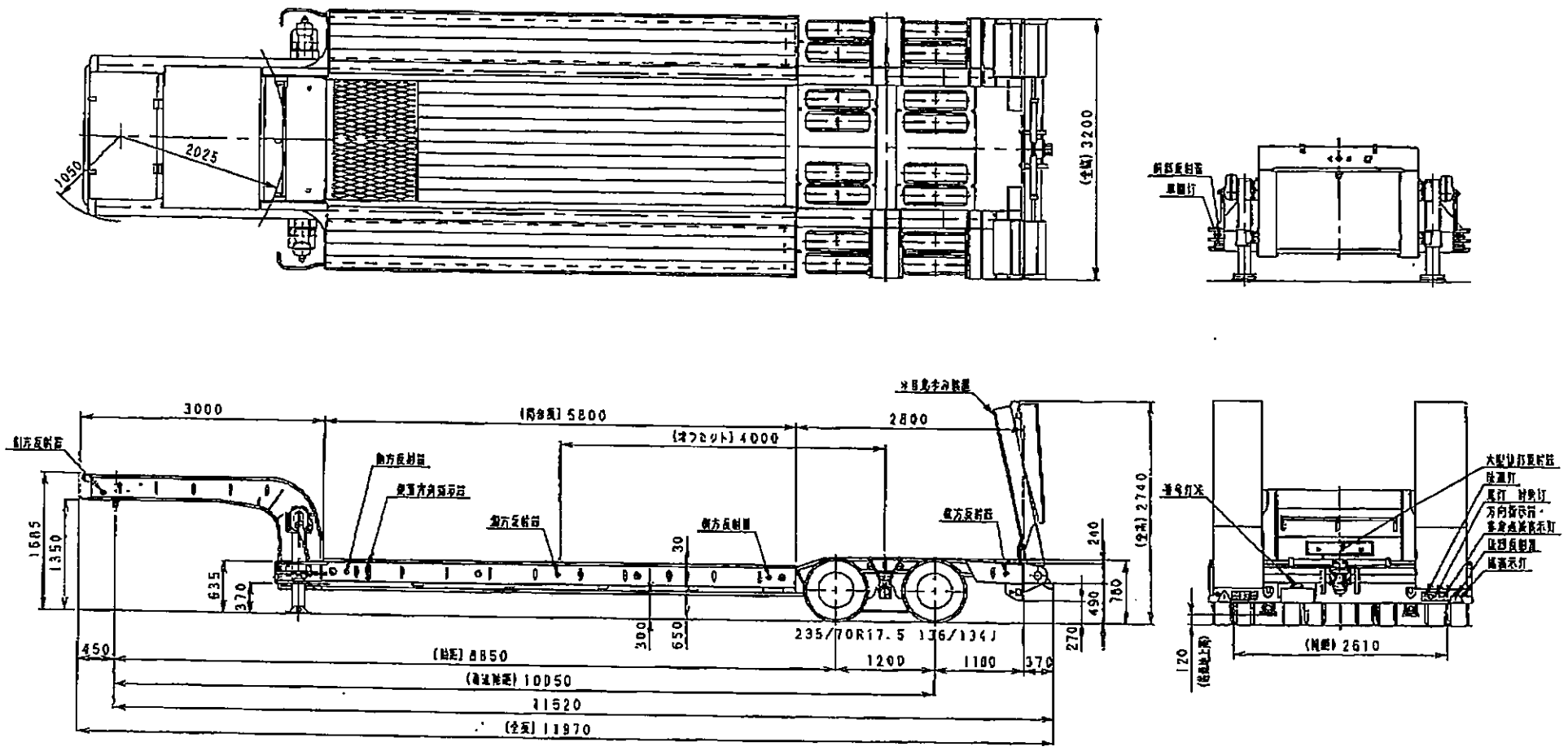

東急TD44J4T2S型
セミトレーラ外観四面図

13774

23-10-20;15:36 ; # 8/ 11

第２号様式

第　　号
平成　　年　　月　　日

東急車輌製造株式会社　殿

改造概要等説明書（改造自動車等審査結果通知書）

指示事項

主要諸元比較表

（試作車・組立車）

項目		標準車	改造車	基準	項目		標準車	改造車	基準
車名			東急	—	乗車定員	人			—
型式			TD44J4T2S	—	最大積載量	kg		30000	—
自動車の種別			普通	—	車両総重量 kg	前前軸重		15860	—
用途			貨物	—		前後軸重			—
車体の形状			セミトレーラ	—		後前軸重		13870	≦101
燃料の種類				—		後中軸重		---	≦101
原動機型式				—		後後軸重		13670	≦101
排気量	cc			—		計		43200	≦281
長さ	m		11.970 (11.620)	≦12 m	最大安定傾斜角度	右		※ 55	一般≧35 その他≧40°
幅	m		3.200	≦2.5m		左		※ 55	
高さ	m		2.740	≦3.8m	タイヤサイズ	前前軸			—
軸距	m		8.850＋1.200 ＝10.050	—		前後軸			—
軸距	前前軸			—		後前軸		235/70R17.5 136/134J	—
	前後軸			—		後中軸		---	—
	後前軸		2.810	—		後後軸		235/70R17.5 136/134J	—
	後中軸		---	—	制車時タイヤ荷重割合 %	前前軸			—
	後後軸		2.810	—		前後軸			—
室内又は荷台の内部の寸法	長さ m		5.800	—		後前軸		80.7	≦100
	幅 m		3.200	—		後中軸		---	≦100
	高さ m		---	—		後後軸		80.7	≦100
車両重量 kg	前前軸重		3160	—	制車時前後軸荷重割合				≧18.20%
	前後軸重			—	リア・オーバーハング m			1.100	≦(1/2) 1.1/2.0, 2/3L
	後前軸重		5020	—					
	後中軸重		---	—					
	後後軸重		5020	—	荷台オフセット m			4.000	—
	計		13200	—	最小回転半径 m			※ 11.4	≦12 m

能力強度等検討

制動能力	踏力 kg 60 km/h 39 m 空気圧 637 kPa		車枠強度	σ_1/σ= 4996 / 868.8 ×2.5 = 2.3 >1.6
推進軸	回転数	NC/N / =	車軸強度	東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一
	強度	σB/τ / =	操縦装置強度	
			懸架装置強度	東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一
			制動装置強度	東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一
			連結装置強度	東急 TD50J3T2 型セミトレーラと同一

注1.（試作車・組立車）の欄には、該当するものを○で囲むこと。
注2.能力強度等検討表は、該当しないものは—、省略したものは×を記入すること。
注3.※印は、三菱 W-FV414JR 型トラクタと連結時の計算値を示す。

改造等の概要

目的	建設機械の安全輸送をはかるため、中低床式セミトレーラとして新たに製作されるものである。
車枠及び車体	全体の構造は梯子型で主レールとアウトリガーおよびクロスメンバとは電気溶接で組まれており前部下面にキングピンを、後部に車軸装置を取り付けている。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急TD50J3T2型セミトレーラと同一。（12自審第651号新型自動車第16886号） 車軸は熱処理炭素鋼で、中実丸型断面チューブの両端にスピンドルを溶接した一体構造である。
操縦装置	
制動装置	東急TD50J3T2型セミトレーラと同一。（12自審第651号新型自動車第16886号） （主ブレーキ）気圧内部拡張式　（駐車ブレーキ）スプリング式 ＡＢＳ装置一式
懸架装置	東急TD50J3T2型セミトレーラと同一。（12自審第651号新型自動車第16886号） ウォーキングビーム方式 トラニオン軸を中心にして前後に揺動し、ウォーキングビームのスピンドルを中心に左右揺動する構造である。
連結装置	東急TD50J3T2型セミトレーラと同一。（12自審第651号新型自動車第16886号） 第５軸方式
照明装置	

13774

7/ 11
23-10-20;15:36 ;